

セアカゴケグモにご注意!

セアカゴケグモは強い毒を持っていますが、つかれると驚いて死んだまねをするなど、攻撃性もなくおとなしいクモです。こちらから手を出さない限り、かまれることはありません。駆除には一般的な殺虫剤が有効です。



素手でさわらないで!

こんな時に注意!!

- * 溝掃除の際に、ふたの裏にいたクモに触れてしまう
- * 植木の手入れ時に、プランターの持ち手に隠れていたクモに触れてしまう
- * サンドルや長靴などを屋外に長時間置いている間にクモが入り込み、使用する時に触れてしまう

セアカゴケグモの特徴

成体のメスの体長は、1cm程度。全体が黒色で、背面に赤色の模様があるのが特徴です。毒をもつのはメスのみです。オスは体長3～5mm程度と小型で、交尾後メスに食べられてしまうことが多いため通常はほとんど見られません。卵は卵(らん)のうという袋に包まれており、卵のうは直径約1～1.5cmでクリーム色からうす茶色をしています。1つの卵のうには約200個の卵が入っています。未成熟のクモは、背面が白いまだらなど不規則な模様をしていますが、腹面に赤色の模様があるのが特徴です。



メス成体と卵のう



卵のう



未成熟のクモ

セアカゴケグモの生息場所

日当たりがよく暖かいところ、昆虫などのエサが豊富にあるところに住みつき、繁殖します。人工物のくぼみや穴、すき間、裏側に巣をつくることが多くあり、身近なところでは、次のようなところで発見されます。

●排水溝のふたの裏、水抜き管の内部



- プランターや植木鉢の持ち手や底、花壇まわりのブロックのくぼみや穴
- 遊具、ベンチ、使っていない自転車、古タイヤのすき間、墓石のすき間
- 自動販売機の下、エアコンの室外機の裏、外置きの手サンダル



セアカゴケグモを見つけたら(駆除)

素手でつかまえたり、さわったりしないようにしましょう。駆除などの作業時には軍手を着用してください。クモに直接、市販の家庭用殺虫剤を噴霧すれば駆除できます。卵のうについては殺虫剤が効かないことがあるので、完全に踏みつぶすなどしてください。

セアカゴケグモにかまれたら

余分の毒を温水や石けん水で洗いおとします。できるだけ早く医療機関に行って治療を受けてください。かまれた部分のまわりが腫れて赤くなるなどの症状が見られます。通常は数時間から数日で回復しますが、まれに血圧の上昇、呼吸困難などの全身症状が現れることもあります。

セアカゴケグモが住みつきにくい環境づくりが大切です。家の周りの掃除や整理整頓に努め、クモが巣を作らないようにしましょう。特に住みつきそうな場所には普段から注意し、清掃等の作業をする時には安全のために軍手を着用しましょう。